

平成 18 年

8 月

No. 514



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



ほら！おいしそうなじゃがいも見つけたよ

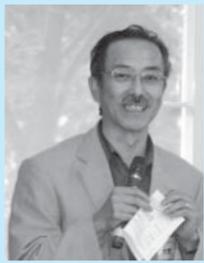
7/27

やまゆり保育所では、佐藤利男さん（大久保・外内）の畑を借りて「じゃがいも掘り」をしました。じゃがいもは、小さいものから大きいものまで形は様々。園児たちは泥んこになりながら、楽しそうにじゃがいもを掘り出していました。



大いなる田舎 まていう17・いいたて

役員ユニット活動に寄せる思い



副団長
大野裕明さん
(天文ジャーナリスト・天体写真家)

「山がっこう」が行われている頃から毎年のように飯舘村に来ています。飯舘村は県内でも星がきれいなところで、そのことを本に書いたテレビ出演するたびに話してきましたので、それを聞きつけた東北大が天文台を建設したのかなと思います。

これからも色々なアイデアや意見を出していきたいと思っています。



応援団長
佐藤弘子さん
(元県職員・県ふるさと応援隊・本村出身)

応援団長、非常に嬉しいです。高校時代に応援団長の経験があり、その時期を彷彿と思い出しました。応援するということは心が熱くなります。応援される方も熱くなります。そういう関係が続くように、ご参会の皆さんと、足を引っ張らずに手を引っ張って、腕を組んで肩を組んで、胸を合わせて、良いユニット活動が出来るように頑張りたいと思います。



副団長
松野光伸さん
(福島大学教授)

福島大学という集団の力で、少しずつ村づくり関わっていただければと思います。以前から過疎対策を研究していて、飯舘村の取り組みや女性の活躍、住民と行政の協働などにとっても感動しました。今まで飯舘村で勉強させていただいた分、出来るだけ村民の方と一緒に、出来るだけ時間を使うことで、少しでも役に立ちたいと思っています。



マネージャー
高橋良男さん
(飯舘村出身福島市在住「郷友会」会長)

村出身で福島市在住の「郷友会」には会員60人いますが、飯舘村には素晴らしい人たちがいるんだと実感しています。県警刑事部長の中島さんや高校の校長先生、多くの県職員OBの方が活躍されています。私も純粋な飯舘村出身者なので、皆さんと会合を重ねながら、協力していきたいと思っています。

私は平成13年と14年の2年間、相双農林事務所に勤めていました。仕事でもつながりがありましたし、週末になると実家の福島から飯舘を通して原町に通ってました。私も高校時代に応援団員として活動してましたので、今回は40年ぶりの応援団員です。精一杯努めさせていただきます。



マネージャー
穴澤建夫さん
(社)福島県緑化推進委員会専務理事)

ネットワークを広げ、村の課題解決や情報発信

7/30

「いいたて・までい」の村づくりを 応援する組織 設立



▲設立総会のようす

このたび、飯舘村の村づくりに共感し関心のある人たちが集まり、村づくりを応援する組織「いいたて・までい・ユニット」が設立しました。ユニット設立に当たっては、5月に有志らによる設立準備会を開き、5人の発起人代表を選出し、33人の呼びかけ人を中心に広く会員を募集してきました。会員は、村出身者や福大教授、文化人、県職員など49人。(7月30日現在)

ユニットは、それぞれの立場で村づくりの一助になることを目的とし、村民らとのネットワークを広げるほか、会員の専門的な知識や特技を生かして村や地域の課題解決を図り、村の情報を広げ発信します。

今月は、自主的な村の応援組織として設立した「いいたて・までい・ユニット」をご紹介します。

応援団長に佐藤弘子さん(元県職員・本村出身)を選出

宿泊体験館きこりで開催された総会には、会員31人と村議会議員や村職員など合わせて50人が出席しました。

総会では、はじめに長正助役が「これからの村づくりの課題は環境や財政、社会の問題であり、までいライフの実践が必要。外部からの視点で意見を出していただき、協力いただくことによって名実ともに素晴らしい村づくりが実現で

きると期待しています」とあいさつ。続いて、佐藤長平村議会副議長から来賓祝辞が述べられました。

その後の議事では、ユニットの申し合わせ事項や今年度の事業計画などを承認し、応援団長に佐藤弘子さんらをはじめとする5人の役員を選出しました。役員の任期は2年です。

活動は大・中・小の3ユニット

ユニットの活動は、大きく大・中・小の3つに分かれています。

大ユニット：いいたて・までい・ユニット全体の活動(会員相互や村民・村職員等との交流会、村内探検、会員への情報発信など)

中ユニット：会員の所属団体などが中心に行なう活動

小ユニット：会員個人が得意分野や目的毎に行う活動

また、ユニットの会員特典として、村の施設の無償提供(一部有償)や、村内情報の提供および物産品紹介、村行事等への招待などを設けています。



▲総会後に開かれた懇親会のようす

今年度のユニットの主な活動は、立村50周年記念祭や秋まつりへの参加、村内見学や村民・村職員との交流会などを予定しています。これからの村づくりは、情報発信や広いネットワークづくりが欠かせません。それらを進めていく一つのきっかけがこのユニットの活用です。

ユニットでは今後も会員を増やしながら、までいな村の魅力づくりを応援していくことにしています。皆さんも、ユニットの会員と交流を図り協力しながら、村づくりを盛り上げていきたいと思います。